

たくましく ゆたかに ひびけ われら若楠

佐賀市立若楠小学校便り



若楠っ子

第12号 令和5年9月11日

文責：守田美由紀

若楠小 HP

<https://www.education.saga.jp/hp/wakakusu-e/>

西九州大学「学校体験」47名が参加しました！ 4日～8日

先週の「学校体験」では、西九大2年生47名が各教室に入り、子どもたちと一緒に過ごしました。子どもたちは、休み時間や授業の中での触れ合いを毎日楽しみにして過ごしていました。オリエンテーションや体験初日で緊張気味の表情だった学生の皆さんでしたが、子どもたちと過ごすことで笑顔が増え、「先生」らしい雰囲気になっていきました。学生の皆さんの日々の振り返りや子どもたちと関わる姿からも、学校生活や子どもたちの姿、教職員の様子などにたくさんの気付きを得て学んでいることが感じられました。

「最終日の昼休みに、子どもたちと一緒に過ごさせてください！」との学生側からの希望があり、予定を変更して金曜日午後までの体験にしました。サプライズに驚いた子どもたちが、笑顔で学生の皆さんを囲んだり手を引いて連れて歩いたりしていました。運動場では、たくさん子どもたちと学生さんが走り回ったり一緒に遊んでいたりと、これまでにない賑やかな昼休みでした。私も、学生の皆さんのおかげで子どもたちの良さをたくさん見ることができました！

SAGA2024開会式 ウェルカムウェルカムパフォーマー募集について

令和6年度佐賀で開催される大会から、「国民体育大会」が「国民スポーツ大会（国スポ）」に名称が変わります。前々号でお伝えしたように、来年5年生～中学2年生となる若楠小・城北中の子どもたちに「SAGA2024国スポ・全障スポ」の開会式でのウェルカムパフォーマーの依頼が届いています。先週、4・5年生に意向調査をしています。私から国スポについて説明し、ウェルカムパフォーマーのイメージを映像で伝えたところ、「やってみたい！」と希望する子どもたちが増え、嬉しく思っています。一年先で予定が立ちにくい上、本番当日だけでなく事前の練習会等への参加が必要ですが、お子さんの気持ちを応援していただきありがとうございます。ウェルカムパフォーマーは、国スポや全障スポで入場するアスリートに近い場所で活動する予定だそうです。子どもたちの心に残る貴重な体験となると思います。今後ともご理解・ご協力をお願いいたします。



「通学合宿」18名の子どもたちがお世話になりました！ 9月6日～9日

3泊4日の宿泊学習が無事に終わりました。若楠公民館の池田館長の講評を聞き、子どもたちが協力しながら生き生きと活動し、どの活動でも頑張っていたことが分かりました。私も、2日目、3日目の朝、公民館から子どもたちが笑顔で和気あいあいとした雰囲気で勢いよく登校して来るのを見て、いつも以上に力をもらいました。学校でも元気に過ごすことができている、子どもたちの通学合宿への意欲の高さや、地域の皆様のおかげで心から活動を楽しんでいることを感じました。

この4日間で延べ100名以上の地域の方や西九州大の学生が関わられたとのこと。子どもたちのために若楠公民館や地域の皆様にたくさんの準備やご支援をいただき、本当にありがとうございました。



お知らせ 6/24の「わかす全員集合!!」でお世話になった「やながわ有明海水族館」の亀井館長が「激レアさん」という番組(11日放送)に出られるそうです。子どもたちとの活動の様子も紹介されるかもしれませんね。

文部科学大臣メッセージ

～子供たちのための学校の働き方改革 できることを直ちに、一緒に～

学校における働き方改革「元年」と言える2019年から約4年、皆様のご尽力のおかげで、教員勤務実態調査では在校等時間が減少しましたが、依然として長時間勤務の教師が多い実態も明らかになっています。この改革の目的は、働き方の改善により教師が学ぶ時間を確保し自らの授業を磨くこと等を通じて、子供たちにより良い教育を存分に行うことができるようにすることです。今後は、2024年度からの3年間を集中改革期間とし、政府全体として質の高い公教育の再生に向け、働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実を一体的に進めていきますが、教師を取り巻く環境をより良いものとするには待ったなしであるため、直ちにできることに関し、文部科学大臣としてメッセージをお伝えします。

1. 国が先頭に立って改革を進めます

教師を取り巻く環境整備の加速化に向け、これまで以上に力強く教育予算を確保します。教師の処遇については、約50年ぶりの抜本的改善に向け今後議論を深めていきますが、今からすぐ取り組めることとして、大幅な教職員定数の改善や支援スタッフの大胆な配置充実、教師のなり手の確保に向けた取組を進めます。

また、国・地方自治体・各学校が行う業務の精選・見直しを国が率先して示します。今回の中央教育審議会の提言でも、学校行事の真に必要なものへの精選・見直し、登校時間の見直し等が例示されています。「やめようと思っても、様々な理由によりやめられない」との声は私にも届いていますが、働き方改革そしてその先のより良い教育につながる取組は、文部科学省として全力で応援しますので、このメッセージを業務改善に向けた旗印としてご活用ください。

2. 学校・教育委員会は、できることは直ちに実行を

働き方改革は国だけでは進みません。改めて、一人一人の教師の勤務時間管理及び健康管理、業務分担の見直し等の責任を有しているのは各校長でありサービスを監督する各教育委員会であるということを、すべての校長先生及び教育長の方々にご確認いただきたいと思えます。これまでの取組で効果の見られた好事例は相当蓄積されており、徹底した実行に移すべき時です。提言では、例えば、標準授業時数を大幅に上回っている教育課程編成の見直しをはじめ各主体において求められる対応が整理されておりますので、各学校の課題を踏まえ、今からできることは直ちに着手いただきますよう、お願いします。

3. 保護者・地域住民の皆様へ

デジタル化の進展など急激に変化する時代の中で、今学校は、子供たちが主体的で創造力豊かに次代を生きる力を育てるため、教育の質の向上に取り組んでいます。教師が教師でなければできない業務に集中してこの課題を達成するため、学校・家庭・地域の連携分担や学校の働き方改革が必要であり、皆様の力がこれまで以上に求められています。更なる連携・協働のためには、国や地方自治体がメッセージを発するとともに、学校が保護者・地域住民の皆様とより積極的にコミュニケーションを図ることが必要です。その際、業務の優先順位を踏まえた思い切った精選・見直しや教師と保護者・地域住民の皆様との役割分担の見直し等の相談についても、ご理解とご支援をいただければ幸いです。

令和5年（2023年）8月29日

文部科学大臣 永岡 桂子

☆働き方改革について、若楠小学校では保護者・地域の皆様にご理解・ご協力をいただきながら進めることができ、感謝申し上げます。今後ともご理解いただくようお願いいたします。

学校教育目標 **夢をもち、明るく笑顔で生き生きとチャレンジする児童の育成**